

1B21

KSJ1B21/BSJ1B21-1911

セイコーワオッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

1B21 ソーラー電波

C-18

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。
- ※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次	
1. この製品について	
製品取扱上のご注意	4
ご使用にあたって	8
特 長	10
各部の名称と主なはたらき	12
ボタンについて	14
りゅうすについて	15
2. ご使用の前に	
ご使用の前に	16
エネルギー残量を確認する	16
時刻を確認する	17
3. 時刻の合わせかた（電波受信）	
電波を受信して時刻を合わせる	18
電波受信のしくみ	18
自動受信と強制受信	19
受信環境について	20
受信範囲のめやす	20
4. ソーラー充電機能について	
充電について	30
充電のしかた	30
充電にかかる時間のめやす	31
5. 時差修正機能について（海外で使うとき）	
時差修正機能について（海外で使うとき）	34
受信範囲のめやす	21
受信範囲のめやす：日本（JJY）	21
受信範囲のめやす：中国（BPC）	22
受信範囲のめやす：アメリカ（WWVB）	23
受信範囲のめやす：ドイツ（DCF77）	24
受信をしやすくするために	25
受信しにくい環境	26
受信ができるているか確認する	28
受信結果表示について	28
6. ご注意いただきたいこと	
お手入れについて	40
性能と型式について	41
防水性能について	42
耐磁性能について（磁気の影響）	44
バンドについて	46
皮革バンド用三つ折れ式中留（なかどめ）の使いかた	48
ルミブライトについて	53
使用電源について	54
アフターサービスについて	56
7. 困ったときは	
強制受信のしかた（手動で電波を受信する）	58
電波の受信ができないとき	60
手動時刻合わせのしかた	61
8. 製品仕様	
製品仕様	78

2

この製品について

1 製品取扱上のご注意

△警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

- ・次のような場合、ご使用を中止してください
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出している場合
 ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
 - 部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
 - 万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・時計から二次電池を取り出さないでください
 - ※ 二次電池について → 使用電源について P.54
 - 二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
 - 一般的な酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。

4

基準位置について	64
針位置自動修正機能（時分秒針の基準位置合わせ）	64
こんなときには	66
万が一、異常な動きになったとき	74
システムリセットをする	74
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
3	3

この製品について

1 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

- ・以下の場所での携帯・保管は避けてください
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5°C～35°Cを外れる温度に長期間なるところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - 強い振動のあるところ
 - 高湿度など
 - ホコリの多いところ
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合
 - ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・その他のご注意
 - 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
 - 手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
 - けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
 - 衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

5

△警告



この時計はスクーバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください
スクーバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。
専用のダイバーズウォッチをご使用ください。



直接蛇口から水をかけることは避けてください
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

△注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください
時計内部に水分が入ることがあります。
※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

ご使用にあたって

■ 充電を心がけましょう

この時計は文字板で受けた光を電気エネルギーに換え、電気を蓄えながら動いています。エネルギー残量が少ないと正常に動きません。
光のあるところに置く・保管するなど、日常的に十分な充電を心がけましょう。

■ エネルギー残量は秒針の動きで確認することができます
→ エネルギー残量を確認する P.16

■ ソーラー充電について
→ 充電のしかた P.30
→ 充電にかかる時間のめやす P.31

■ 電波を受信するために

この時計は毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。
電波を自動的に受信するのは、午前 2 時前と午前 4 時前です。
その時間帯は、時計を身に着けずに電波を受信しやすいところに置き、動かさないようにしましょう。

→ 受信しやすくするために P.25

特長

この時計はソーラー駆動の電波修正ウォッチです。

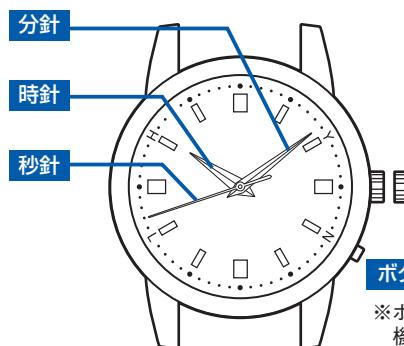
- ・文字板の下にあるソーラーセルで、光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。
- ・時刻情報をのせた電波を受信することにより、正しい時刻を表示します。
- ・日本、中国、アメリカ、ドイツの電波を受信することができます。
- 電波受信機能……………毎日、自動的に電波を受信し、正しい時刻に合わせます。
→ P.18 手動で強制的に電波を受信させることもできます。
日本（2局）と中国、アメリカ、ドイツの電波を受信することができます。（時差修正機能で受信局を選択します。）

- 受信レベル表示機能……………電波受信中に、秒針が受信状況を表示します。
→ P.58 （強制受信のみ）

- 受信結果表示機能……………秒針で、電波の受信結果（成否）を表示します。
→ P.28

- 時差修正機能……………時差を設定すると、海外の現地時刻を表示します。
(受信局選択)
→ P.34 また、時差を設定することで、電波が受信できる地域ではその地域の電波が受信できるようになります。
- ソーラー充電機能……………文字板の下にあるソーラーセルで光を「電気エネルギー」に換え、充電します。フル充電で約6ヶ月間動きつづけます。
→ P.30
- エネルギー切れ予告機能……充電が必要なことを秒針の動きで知らせてくれます。
→ P.32
- パワーセーブ機能……………光があたらない状態が続いたときに、無駄なエネルギーの消費を抑える機能です。
→ P.33
- 針位置自動修正機能……………磁気などの外部影響で針がずれた場合に、自動的に直します。
→ P.64

各部の名称と主なはたらき



りゅうず

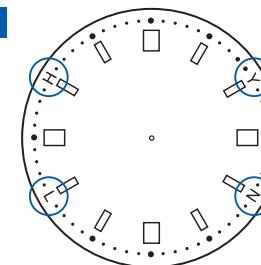
- 0段目：受信結果の確認 P.28
時差修正 P.34
強制受信 P.58
手動時刻合わせ P.61
1段目：システムリセット P.74

ボタン →P.14

※ボタンのはたらきについては、機能により操作方法が異なりますので、各機種のページを参照してください。

受信レベル表示

- 【強制受信】
H …… 受信レベル高い
(50秒位置)
L …… 受信レベル低い
(40秒位置)
N …… 受信できない
(20秒位置)
※ 受信レベル表示について→P.58



受信結果表示

- 【受信結果の確認】
Y …… 受信できている
(10秒位置)
N …… 受信できていない
(20秒位置)
※ 受信結果表示について→P.28

受信局表示

表示（受信局のある国）	表示位置
J / JJY (日本)	9秒位置
B / BPC (中国)	8秒位置
W / WWVB (アメリカ)	53秒位置
D / DCF77 (ドイツ)	1秒位置

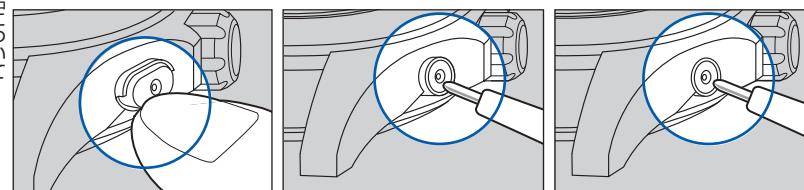
※ 時差修正機能について→P.34

※各表示はモデル（デザイン）によって異なる場合があります。

ボタンについて

誤って押されることを防ぐために、指で簡単に押すことができない構造になっているものがあります。

ボタンの形状はデザインによって異なります。



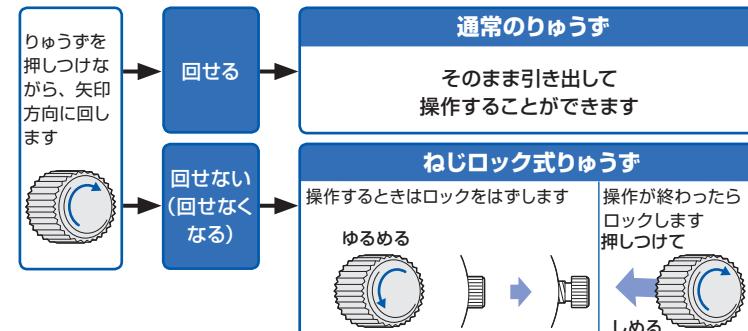
上半分がおおわれたもの
下側から指で押してください。
または、先が細いものなどを使用して、
へこみの部分を押してください。

周囲が全ておおわれたもの
先が細いものなどを使用して、
へこみの部分を押してください。

ケースに埋め込まれたもの
先が細いものなどを使用して、
へこみの部分を押してください。

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。

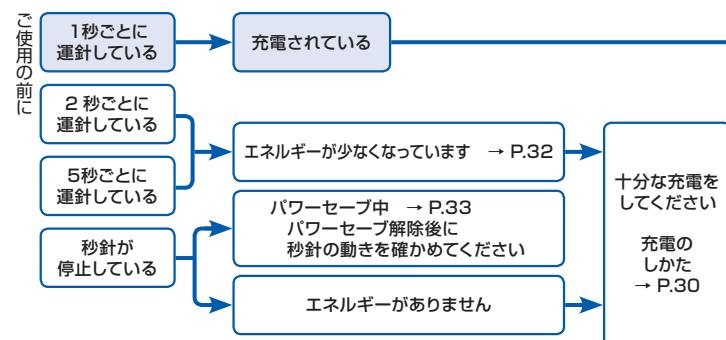


* ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
* ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすことがありますので、ご注意ください。

ご使用の前に

① エネルギー残量を確認する

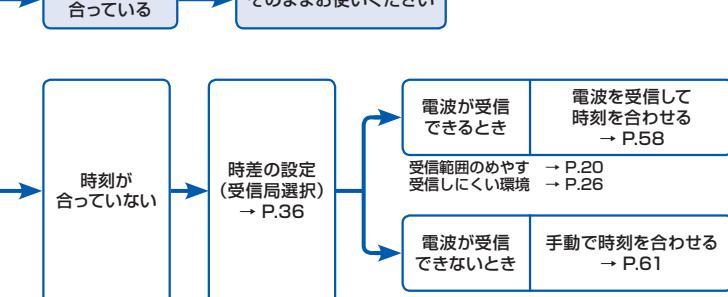
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



* 充電をしても1秒運針にならないとき → こんなときは：充電 P.68

② 時刻を確認する

* この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。
時刻を修正するときは、下記のページを参照してください。

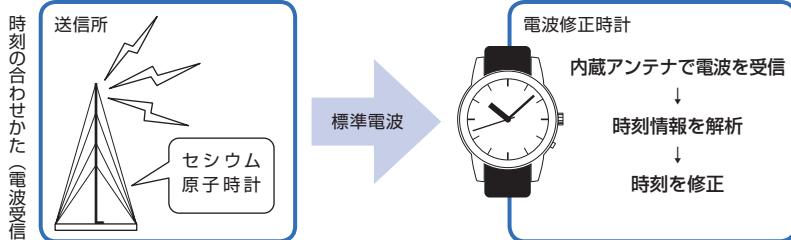


電波を受信して時刻を合わせる

■ 電波受信のしくみ

正確な時刻情報をのせた標準電波を受信して、正しい時刻を表示します。

3



標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という
超高精度を保つ「セシウム原子時計」によるものです。

18

3

時刻の合わせかた（電波受信）

■ 自動受信と強制受信

・自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻を合わせます。
午前 2 時前と午前 4 時前に行われます。

※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。

- ・窓際など電波を受信しやすい場所に置いてください
- ・受信中は動かさないでください
→ 受信しやすくするために P.25

・強制受信

自動受信以外に、いつでも任意で電波を受信することができます。
→ 強制受信のしかた P.58

※ 時差が、受信範囲以外の地域に設定されていると、電波の受信はできません。

時差の設定を確認してください。 → 時差を設定する（受信局を選択する） P.36

※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → 受信しにくい環境 P.26

※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 電波受信範囲のめやす P.20

※ 受信に成功しても時刻が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれ P.70

19

受信環境について

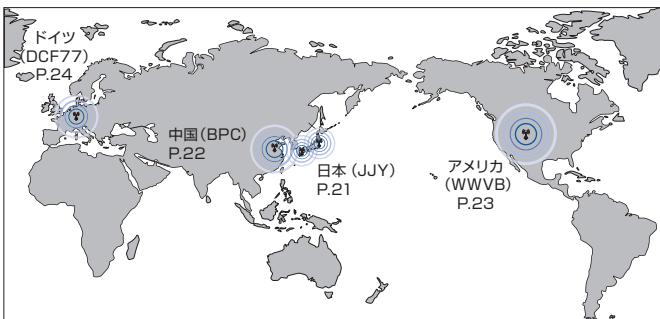
■ 受信範囲のめやす

この時計は、日本（2 局）と中国、アメリカ、ドイツの標準電波を受信します。
時差修正機能で受信局を選択することができます。

→ 時差を設定する（受信局を選択する） P.36

3

時刻の合わせかた（電波受信）



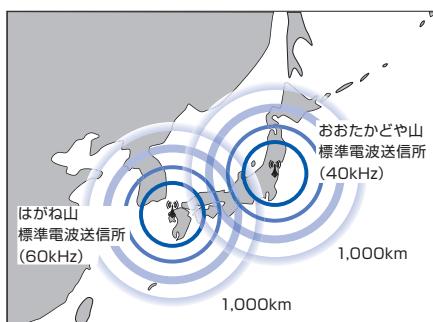
20

3

時刻の合わせかた（電波受信）

■ 受信範囲のめやす：日本 (JJY)

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,000km です。
(各送信所を中心半径 1,000km)



NICT（情報通信研究機構）
により運用されています。

福島：おおたかどや山 標準電波送信所
周波数: 40 kHz
九州：はがね山 標準電波送信所
周波数: 60 kHz

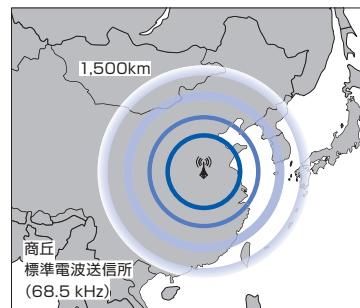
※ NICT: National Institute of Information and Communications Technology

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。
→ 受信しにくい環境 P.26

21

■ 受信範囲のめやす：中国 (BPC)

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,500km です。
(送信所を中心に半径 1,500km)



3

時刻の合わせかた
(電波受信)

NTSC (中国科学院 国家授時中心) により運用されています。

河南省 商丘市

商丘 標準電波送信所

周波数 : 68.5 kHz

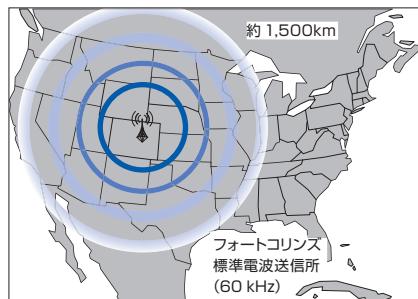
※ NTSC : National Time Service Center

※ 1,500km を超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。
→ 受信しにくい環境 P.26

■ 受信範囲のめやす：アメリカ (WWVB)

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,500km です。
(送信所を中心に半径 1,500km) 範囲内には 4 つの時差があります。



NIST (米国標準技術局) により運用されています。

コロラド州デンバー近郊

ポートコリンズ標準電波送信所

周波数 : 60 kHz

※ NIST : National Institute of Standards and Technology

※ 1,500km を超えた範囲でも、条件が良ければ、受信できる場合があります。

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。
→ 受信しにくい環境 P.26

3

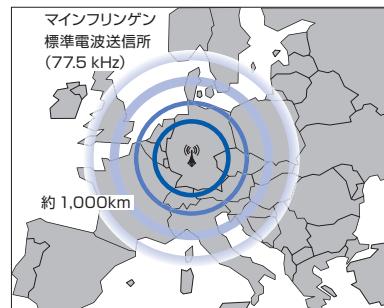
時刻の合わせかた
(電波受信)

22

23

■ 受信範囲のめやす：ドイツ (DCF77)

送信所からの受信範囲のめやすは、約 1,000km です。
(送信所を中心に半径 1,000km) 範囲内には 3 つの時差があります。



3

時刻の合わせかた
(電波受信)

PTB (物理・技術連邦院) により運用されています。

フランクフルト南東：

マインフレンゲン標準電波送信所 : 77.5 kHz

※ PTB : Physikalisch-Technische Bundesanstalt

※ 受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。
→ 受信しにくい環境 P.26

■ 受信をしやすくするために

・窓際など電波を受信しやすい場所に置いてください。

アンテナは 8 時位置にあります。

アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けると、より受信しやすくなります。

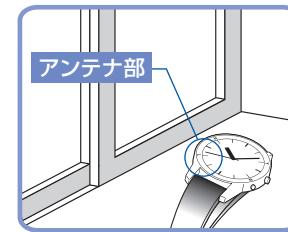
※ 送信所の場所 → 受信範囲のめやす P.20

・受信中は動かさないでください。

安定した状態で電波を受信するために受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。

静止していない状態では電波の受信はできません。

※ 受信中にボタンやリューズを操作すると受信がキャンセルされます。



3

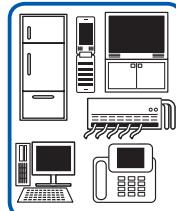
時刻の合わせかた
(電波受信)

24

25

■ 受信しにくい環境

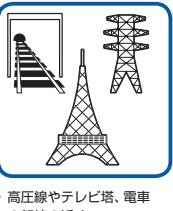
3



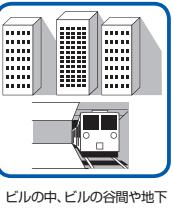
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
- ・携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く
- ・スチール机などの金属製の家具の上や近く



- ・工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ



- ・高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く



- ・ビルの中、ビルの合間や地下



- ・乗り物の中
(自動車、電車、飛行機など)

受信のときは、このような場所を避けてください。

26

注意

- ・外部からの影響により誤った電波を受信したときは、間違った時刻を表示する場合があります。

また、受信場所・電波状況によっては受信できないことがあります。
このようなときは、受信を行う場所を変えてください。

- ・電波が受信できない場合でもクオーツの精度（平均月差±15秒）で動いてます。
- ・設備のメンテナンスや落雷の影響などにより停波（電波停止）することがあります。
停波に関する情報は、送信所のホームページをご覧になるか、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

・送信所のホームページアドレス（2014年1月現在）

- 日本：情報通信研究機構（日本標準時プロジェクト）<http://jjy.nict.go.jp/>
 中國：NTSC <http://www.ntsc.ac.cn>
 アメリカ：NIST <http://www.nist.gov/physlab/div847/grp40/wwwb.cfm>
 ドイツ：PTB http://www.ptb.de/index_en.html

3

27

受信ができているか確認する

■ 受信結果表示について

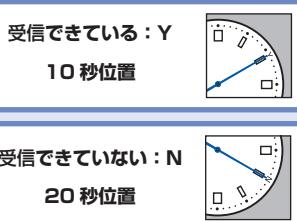
最後に受信した結果（成否）を秒針が5秒間表示します。

3

① ボタンを1回押して、離す



② 受信ができているか確認する（5秒以内）



28

3

受信結果がYになったときは

- ・受信ができます。そのままお使いください。

※ 受信に成功しても時刻が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれ P.70

受信結果がNになったときは

- ・時計を置く場所や向きを変えて、受信させてください。

受信範囲内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。 → 受信しにくい環境 P.26

また、受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 受信範囲について P.20

- ・時差の設定を確認して、受信させてください。

日本、中国、アメリカ、ドイツ以外に時差を設定すると、電波を受信できません。
時差の設定を確認してください。 → 時差を設定する（受信局を選択する） P.36

- ・時間帯を変えて受信させてください。（強制受信の場合）

同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。

- ・電波受信できない地域・場所でお使いのとき、またはどうしても受信がうまくいかないときは、手動で時刻を合わせてください。 → 手動時刻合わせのしかた P.61

29

時差修正機能について(海外で使うとき)

■ 時差修正機能の特長

- 目的地の時刻を表示するには、時差修正のモードで時差を設定します。
1時間単位の時差がある海外の時刻を表示させることができます。UTC(協定世界時)を基準にして、時差を設定します。UTCからみた世界各地の時差は【-11時間から+13時間】です。
- 時差修正のモードでは、UTC(協定世界時)からの時差を秒針の位置で表します。
秒針の位置をめやすにボタンを操作して、時差を設定してください。
- 時差の設定により、電波の受信局が選択されます。
例：日本で使うときは【9秒位置：東京】に設定すると、日本の電波を受信します。
中国で使うときは【8秒位置：北京】に設定します。
受信可能地域以外に時差を設定すると、電波受信機能ははたらきません。

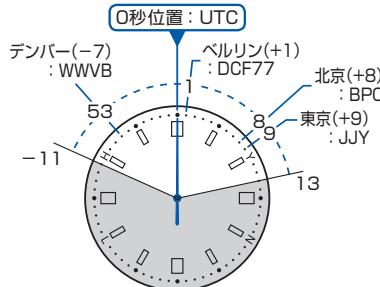
→ 時差を設定する P.36

→ 世界の主な地域の時差一覧 P.38

<秒針の位置と時差(受信局)の見かた>

※カッコ内はUTCからの時差

※52～55秒位置に合わせると受信局がアメリカ(WWVB)に選択されます。
※0～1秒位置に合わせると受信局がドイツ(DCF77)に選択されます。



■ 時差修正機能 Q&A

Q：海外から日本に戻ってきたときは、自動的に日本の時刻になりますか？

A：移動しただけでは日本の時刻になりません。

日本で使う時は「時差修正機能」で日本時間に設定してください。

Q：時差修正の操作をしている間は針が止まっているので、時刻がずれてしまうのではないか？

A：内部の回路が時刻を記憶していますので、時刻がずれることはございません。

Q：受信範囲ではない地域に時差を設定していると、電波を受信しませんが、その間の時計の精度はどうなっていますか？

A：その場合は、通常のクオーツ時計としてお使いいただけます。（平均月差±15秒）

Q：15分、30分単位の時差がある地域の時刻に合わせるにはどうすればいいですか？

A：「手動時刻合わせ」の機能をお使いください。

→ 手動時刻合わせのしかた P.61

時差を設定する(受信局を選択する)

① ボタンを押し続けて(8秒) 秒針が反時計方向に動いたら離す

▶ 時差修正のモードに入り、現在設定されている時差で停止します。



※ ボタンは先の細いものなどを
使って押してください。→ P.14

※ ボタンを押して3秒後に秒針が0秒位置に動くことがあります、そのまま押し続けてください。
※ 針が動いていない状態が1分以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。
時刻表示に戻ったときは、操作をやりなおしてください。
※ 押す時間が短いと強制受信の動作に入ることがあります。

② ボタンを押して、秒針を 目的地の時差に合わせる

▶ ボタンを1回押すと秒針が1秒ぶん(+1時間)時計回りに動き、1時間時刻が進みます。

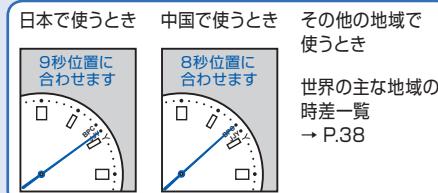
秒針の位置が時差を表します。
右の図を参考に合わせてください。



※ 時計が動いている間も、
秒針を動かすことができます。

時差を設定することで、電波の受信局を切り替えます。受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたらきません。

※ サマータイムの設定をする時は、目的地の時差から+1時間の時差に設定してください。



※ 秒針が13秒(UTCから+13時間)のときにボタンを押すと、49秒位置(UTCから-11時間)に移動します。

③ 時針の動きが止まってから、 1分間お待ちください。 (時差修正モードが終了)

▶ 1分経過後、1秒ごとの運針に戻ります。

世界の主な地域の時差一覧				
時差修正モードでは以下をめやすに時差設定してください。				
※ 受信電波欄に記載のない時差に設定すると、電波受信の機能はたらきません。				
時差設定 秒針位置	UTC から の時差	タイムゾーン 代表都市名	受信電波	時差設定 秒針位置
0 秒	± 0 時間	★ロンドン / UTC	DCF77	49 秒
1 秒	+ 1 時間	★パリ / ★ベルリン	DCF77	50 秒
2 秒	+ 2 時間	★カイロ	DCF77 △	51 秒
3 秒	+ 3 時間	ジッダ	—	52 秒
4 秒	+ 4 時間	ドバイ	—	53 秒
5 秒	+ 5 時間	カラチ	—	54 秒
6 秒	+ 6 時間	ダッカ	—	55 秒
7 秒	+ 7 時間	バンコク	—	56 秒
8 秒	+ 8 時間	北京	BPC	57 秒
9 秒	+ 9 時間	東京	JJY	58 秒
10 秒	+ 10 時間	★シドニー	JJY △	59 秒
11 秒	+ 11 時間	ヌーメア	—	—
12 秒	+ 12 時間	★ウェリントン	—	—
13 秒	+ 13 時間	(ウェリントンの DST)	—	—

★印の地域ではサマータイムが導入されています。
(2014 年 1 月現在)

受信電波欄に△のついたタイムゾーンは、受信可能な地域のサマータイムで使用します。

世界各地には【協定世界時(UTC)】を基準にした時刻の差、【時差】があります。世界各地は 1 時間ごとの時差を持つ 24 の地域【タイムゾーン】に分けられており、地球 1 周で 24 時間となるようにして国際的に運用されています。また、地域によっては個別に【サマータイム(DST)】が設定されています。

協定世界時(UTC)

Coordinated Universal Time = コーディネイティッド ユニバーサルタイム
UTC は国際協定により定められた世界共通の標準時です。全世界で時刻を記録する際に公式な時刻として使われています。天文学的に定められた世界時(UT)とのずれを補正するため、世界中にある原子時計を元に決められた「国際原子時(TAI)」にうるう秒を加えて、調整をした時刻が UTC となります。

サマータイム(DST) : Daylight Saving Time = デイライト セービングタイム

夏時間のことです。
夏の日照時間の長いときに、時刻を 1 時間進めて昼間の時間を長くする制度です。
欧米を中心に世界の約 80 国で実施されています。
サマータイムの実施期間や実施地域は国によって様々です。

※ 各地域の時差、およびサマータイムは、国または地域の都合により変更される場合があります。

※ ごく一部の地域では 15 分、30 分単位で時差が設定されている場合があります。(インドなど)

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- ・ りゅうずを引き出でて洗わないでください。
- ・ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・ 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※ 「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式について P.41 防水性能について P.42

● りゅうずは時々回してください

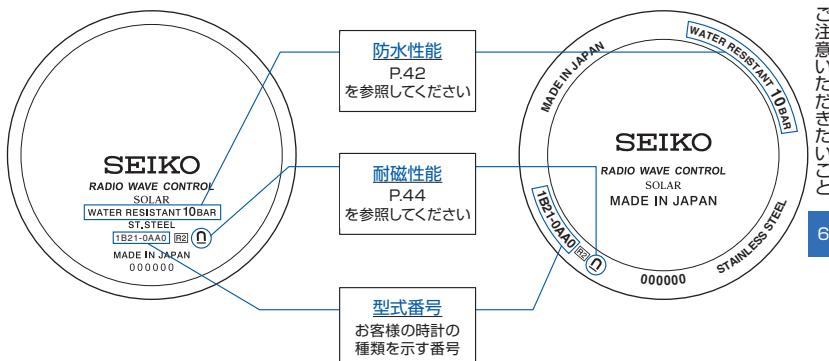
- ・ りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 → りゅうずについて P.15

● ボタンは時々押してください

- ・ ボタンのさびつきを防止するため、時々ボタンを押してください。
※ ボタンを押すことで表示が変わった場合は、そのままお待ちください。

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます



※ 上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。

(「P.41」をご覧ください)

ご注意いただきたいこと

6

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。

42

ご注意いただきたいこと

6

43

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身边にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

* この時計は、磁気により時刻が狂っても、「針位置自動修正機能」によって自動的に針位置を修正します。(P.64)

ご注意いただきたいこと

6

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。
□	磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。 (JIS1種)
□	磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。 (JIS2種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



ご注意いただきたいこと

6

45

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そして口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。) 残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

●皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいだ後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリー バンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

●ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

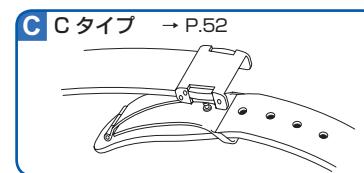
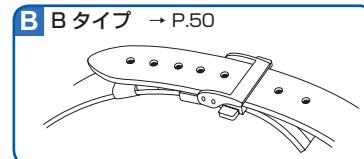
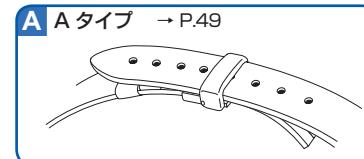
バンドサイズのめやすについて

バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



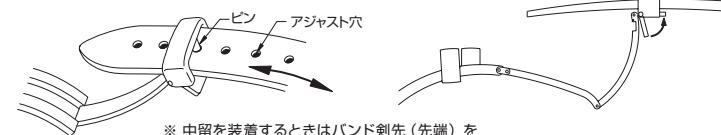
皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた

皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法を参照してください。



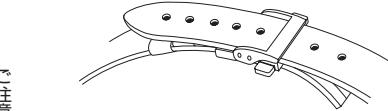
A Aタイプの使いかた

- ① バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② 上箱の底板を下に開きます。
- ③ ピンをアジャスト穴から外します。
バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。
※ 底板を押しこみ過ぎないようにしてください。
- ④ 底板を閉めます。
※ 底板を押しこみ過ぎないようにしてください。



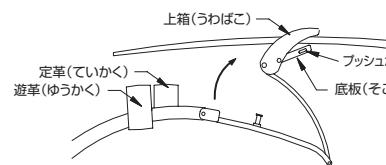
※ 中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

B B タイプの使いかた

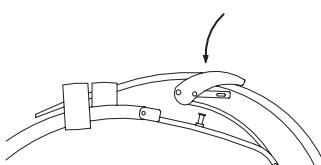


・着脱のしかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



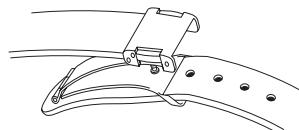
- ② バンドの剣先（先端）を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかりと押さえて留めます。



6

50

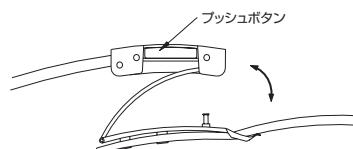
C C タイプの使いかた



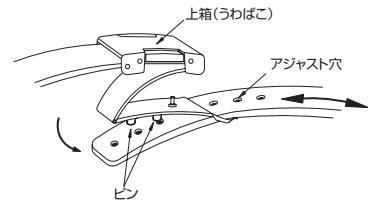
- ① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。

ご注意いただきたいこと

6



- ② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。



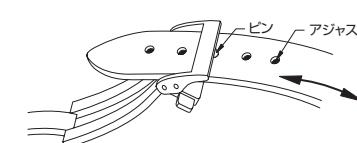
52

・バンドの長さを調節するには

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。 上箱（うわばこ） ブッシュボタン 底板（そこいた） 定革（ていかく） 遊革（ゆうかく）

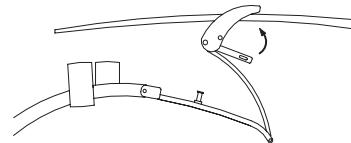
- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。

6



- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開けます。

- ④ 底板を閉めます。



ご注意いただきたいこと

6

51

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間 : 500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～ 5 時間）発光します。光が当たらなくなつてから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※ 一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいけれど、時間が経過と共に見やすくなつてきます。（目の暗順応）

※ ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

<照度のめやすについて>

環境	明るさ（照度）のめやす	
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 (白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

ご注意いただきたいこと

6

53

使用電源について

この時計には、一般的な酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。
長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しください。

ご注意いただきたいこと

6

54

△警告

■ 二次電池交換時のご注意

- ・二次電池は取り出さないでください。
二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
- ・一般的な酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※ フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす」P.31」を参照してください。

△警告

■ 充電時のご注意

- ・充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- ・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- ・時計が 60°C以上にならないようにしてください。

ご注意いただきたいこと

6

55

アフターサービスについて

ご注意いただきたいこと

6

●保証と修理について

- ・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、3 年～4 年に 1 度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

ご注意いただきたいこと

6

56

57

強制受信のしかた（手動で電波を受信する）

① 時計を置く

時計を電波が受信しやすい場所に置きます。



困ったときは

7

- 受信しやすくするために P.25
- 受信しにくい環境 P.26
- ※ 受信範囲の外では、受信はできません。
→ 受信範囲のめやす P.20

58

② ボタンを押し続けて（3秒） 秒針が0秒位置に移動したら離す

▶ 秒針が移動して、0秒位置に停止してから受信がはじまります。



* ボタンは先の細いもので押してください。
→ P.14

- ※ 時差を受信可能地域以外に選択している場合、秒針が0秒位置に移動しません。（強制受信はできません。）
- 選択されている時差を確認してください。
- 時差を設定する（受信局を設定する） P.36

③ 時計を置いたまま、数分待つ (最長12分)

▶ 秒針が1秒ごとに動いたら、受信終了です。

受信には時間がかかります。（最長12分）

* 電波の状況によります。

<受信が終了するまでの表示>

秒針が受信レベルを示します。

受信レベル	高い:H	低い:L
表示		
電波の状況	受信しやすい	受信しにくい

④ 秒針が1秒ごとに動いたら、受信ができたか確認する

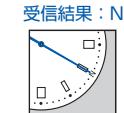
受信が終了したら、受信ができたか確認しましょう。

→ 受信結果表示について P.28

困ったときは

7

<受信ができなかったとき>
秒針が受信結果「N」を示します。



- 5秒後に時刻表示に戻ります。
→ 受信結果が「N」になったときは P.29

59

電波の受信ができないとき

電波の受信ができないときは、以下のページを確認してください。

・電波の受信範囲内で受信ができないとき

- お使いの地域の時差になっているか確認してください。
時差を選択しても、時刻が合わないとき → こんなときは：電波受信 P.68
- それでも電波の受信ができないため、時刻を合わせられないときは、手動で時刻を合わせてください。
→ 手動時刻合わせのしかた P.61
- ※ 電波受信の範囲は「受信範囲のめやす P.20」をご確認ください。

困ったときは

7

・電波受信範囲の外で使うとき

- お使いの地域の時差を選択してください。
→ 時差を設定する（受信局を選択する） P.36
- 時差を選択しても、時刻が合わないときは、手動で時刻を合わせてください。

60

■ 手動時刻合わせのしかた

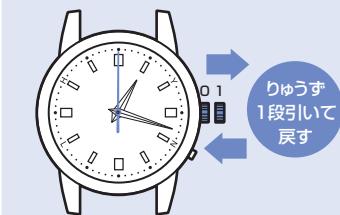
電波の受信範囲外などの
電波が受信できない環境で、
継続的に使用する場合、手動で
時刻を合わせてください。
→ 受信範囲のめやす P.20

- 再び受信可能な環境で使うときは、
電波を受信して時刻を合わせてください。
→ 自動受信と強制受信 P.19

- ※ 電波が受信できない場合でも、通常のクオーツ時計と同じ精度でお使いいただけます。（平均月差 ±15秒）
- ※ 手動時刻合わせの後で電波を受信したときは、受信した時刻を表示します。

① りゅうず1段引いて 押し戻す

▶ 秒針が停止します。



* ねじロック式りゅうずの場合は、ロックをはずしてください。→ P.15

- ※ 針が動いていない状態が1分以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。
時刻表示に戻ったときは、操作をやりなおしてください。

次のページに続く

困ったときは

7

61

② ボタンを押して離す

▶ 秒針が0秒位置まで移動し停止します。
手動時刻合わせのモードに入ります。

* この状態が1分以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。時刻表示に戻ったときは、①から操作をやりなおしてください。

* 手動時刻合わせのモードに入ると、電波受信結果のデータが失われるため、受信結果を確認しても「N」と表示されます。

③ ボタンを押して時刻を合わせる

▶ ボタンを1回押すと秒針が1周回つて1分進みます。

2秒押し続けると連続で動き出し、もう1度押すと止まります。

④ ③の操作が終わったら、りゅうずを1段引く

⑤ 時報などに合わせてりゅうずを押し戻す

▶ 操作は完了です。
時計が動きはじめます。

* ねじロック式りゅうずの場合はロックをしてください。
→ P.15

困ったときは
7
困ったときは
7

基準位置について

電波の受信に成功しても時刻が合わないときは、基準位置がずれていることが考えられます。

基準位置がずれる理由は、以下の原因が考えられます。

- ・強い衝撃を受けたとき：落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
- ・磁気の影響を受けたとき：磁気を発するものに近づけることずれることができます。

→時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例 P.45

【針の基準位置がずれている】状態というのは、体重計に例えると「メーターのゼロ位置が合っていないために、正しい体重が表示できない」ということです。

■ 針位置自動修正機能（時分秒針の基準位置合わせ）

時分秒針には、基準位置がずれたときに自動的に修正する「針位置自動修正機能」があります。針位置自動修正機能がはたらくのは、分針と秒針は1時間に1回、時針は12時間に1回（午前・午後12時）です。

*この機能は、衝撃や磁気による影響（外的要因）で針がずれてしまったときにはたらきます。

時計の精度や製造上の微細なずれを修正する機能ではありません。

こんなときには

困ったときは

7

こんなときには	考えられる原因	このようにしてください	参照ページ	
針の動き	秒針が2秒ごとに運針している	エネルギー切れ予告機能がはたらいている (P.32) 毎日身についていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中に隠れているなど、十分な光があたっていないことが考えられます。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。 携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないように気をつけてください。また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけてください。	P.30
	秒針が5秒ごとに運針している			
	秒針が15秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	光があたると、針が早送りされて現在時刻に戻ります。 現在時刻に戻ったら、そのままお使いください。(異常な動きではありません。)	—
	秒針が45秒位置で停止している状態から動きだした	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 光があたらない状態が続いた場合、無駄なエネルギーの消費を抑えるパワーセーブ機能がはたらきます。	① 秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて電波を受信してください	P.30 P.19
	ボタン操作をしていないのに針が早送りされ、その後は1秒ごとに運針している	パワーセーブ機能がはたらいていた (P.33) 針位置自動修正機能がはたらいた (P.64) 外部からの影響などで針がずれた場合には、針位置自動修正機能がはらいて自動的に針のずれを直します。	そのまま何もせずにお使いください。(異常な動きではありません。)	—

66

困ったときは

7

67

困ったときは

7

こんなときには	考えられる原因	このようにしてください	参照ページ	
電波受信	受信できない 受信結果表示が「N (受信できていない)」になる	受信中に時計を動かした。 (電波の受信には最長12分かかります。)	受信中は時計を動かさないでください。 受信には時間がかかるので、最長12分お待ちください。	P.25 P.59
		受信しにくい環境にある。(P.26)	受信しやすい環境に時計を置きなおして受信してください。	P.25
	標準電波送信所の都合で電波を止めている。(停波) 受信可能地域以外の地域に、時差が設定されている。	停波に関する情報は、送信所を運営する機関のホームページを参照してください。 時間を置いて受信してみましょう。	P.27	
		① 時差の設定を確認し、受信可能地域にしてください。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて電波受信を受信してください。	P.36 P.19	
充電	十分な充電を行っても動かない、もしくは1秒運針にならない	あてる光が弱い。 充電時間が短い。 時計内部のシステムが不安定になっている。	照度によって充電にかかる時間は変わります。 「充電にかかる時間のめやす」を参考に、充電を行ってください。 「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.31 P.74

68

困ったときは

7

69

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
困ったときは 7	時刻が一時的に進む、または遅れる	時計を暑いところ、または寒いところに放置した。	① 常温に戻れば元の精度に戻ります。 ② その後、時刻が合っていない場合は、必要に応じて強制受信をしてください。 ③ 元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	— P.58 —
		外部からの影響で間違った時刻を受信した。(誤受信)	① より受信しやすい環境で受信するようにしてください。 ② 必要に応じて強制受信をしてください。	P.25 P.58
	受信に成功したのに時刻がずれている	外部からの影響で針の位置がずれている。 針の基準位置がずれている。 →基準位置について P.64	① 針位置自動修正機能がはたらいて、自動的に修正されます。何もせずにそのままお使いください。針位置自動修正機能がはたらくのは、分針と秒針は1時間に1回、時針は12時間に1回（午前・午後12時）です。お急ぎの場合は、時刻を手動で修正してください。 ② 針のずれが修正されない場合は、「万が一、異常な動きになったとき」を参照し、操作をしてください。	P.64 P.61 P.74
		「受信結果表示」や「受信レベル表示」で秒針の位置がずれている	③ ②の操作を行っても、針のずれが修正されない場合は、お買い上げ店にご相談ください。	—
	分・秒は合っているが、時刻が1時間単位でずれている	時差の設定が合っていない。	時差の設定を確認し、使用する地域の時差に合せてください。	P.36

70

71

こんなときは		考えられる原因	このようにしてください	参照ページ
操作 7	ボタン、りゅうすが機能しない(操作しても動かない)	エネルギー残量が少なくなっている。	秒針が1秒ごとに運針するまで、十分な充電をしてください。	P.30
		設定の操作直後で、針が動いている途中である。	何もせず、そのままお待ちください。 動きが止まれば操作できるようになります。	—
	設定中に操作がわからなくなった	-----	① りゅうすが引き出されている場合は、りゅうすを戻してください。 ② 最大5分で1秒ごとの運針に戻ります。 ③ その後で、改めて操作をやりなおしてください。	—
困ったときは 7	その他	ガラスのくもりが消えない	パッキンなどの劣化などにより時計内部に水が入った。	
※記載以外の現象はお買い上げ店にご相談ください。		お買い上げ店にご相談ください。		—

7

72

73

万が一、異常な動きになったとき

万が一、異常な動きになったとき、または十分な充電を行っても動かない、もしくは1秒運針にならないときは、①～⑥の操作を行うことで正常に機能するようになります。

困ったときは

7

74

■ システムリセットをする(①～③)

① りゅうずを1段引く



※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。→ P.15

※りゅうずを引いても秒針は動きつづけます。

② ボタンを5秒押して離す

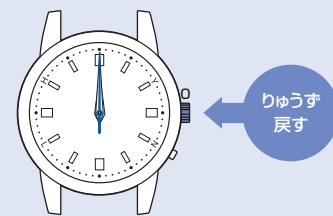
▶離してから約5秒後に時針が動き、12時位置に停止します。
その後、分針と秒針が動き、0分0秒に停止します。



※ボタンは先の細いもので押してください。
→ P.14

※すべての針が停止するまでボタンの操作はできません。

③ りゅうずを押し戻す



困ったときは

7

次のページに続く

75

■ 時差を設定する(④～⑥)

システムリセット後は、時差の設定がロンドン／UTCになります。
※必要に応じて時差の設定をしてください。

④ ボタンを押し続けて(8秒) 秒針が反時計方向に動いたら離す



※ボタンは先の細いもので押してください。
→ P.14

※ボタンを押して3秒後に秒針が0秒位置に動くことがあります。そのまま押し続けてください。
※針が動いていない状態が1分以上続くと自動的に時刻表示に戻ります。
時刻表示に戻ったときは、操作を④からやりなおしてください。

7

76

⑤ ボタンを押して、秒針を 今いる場所の時差に合わせる

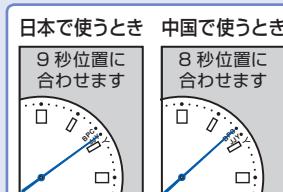
▶ボタンを1回押すと秒針が1秒ぶん(+1時間)時計回りに動き、1時間時刻が進みます。

秒針の位置が時差を表します。
右の図を参考に合わせてください。



※時分針が動いている間も、
秒針を動かすことができます。

時差を設定することで、電波の受信局を切り替えます。
受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたらきません。



※サマータイムの設定をする時は、目的地の時差から+1時間の時差に設定してください。
※秒針が13秒位置(UTCから+13時間)のときにボタンを押すと、49秒位置(UTCから-11時間)に移動します。

■ 時刻を合わせる

⑥ 電波を受信して 時刻を合わせる

⑤の操作の後、時分針の動きが止まると、
1分後に時差修正モードが終了します。

⑤までの操作が終了したら、必ず時刻を合わせてください。

強制受信のしかた
→ P.58

電波が受信できない環境では、
手動で時刻を合わせてください。
→手動時刻合わせのしかた P.61

時刻を合わせたら操作は終了です。

困ったときは

7

77

製品仕様

1. 基本機能 基本時計3針（時・分・秒針）
2. 水晶振動数 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
3. 精度 平均月差 ±15秒以内（電波受信による時刻修正が行なわれない場合、かつ気温5°C～35°Cにおいて腕に着けた場合）
4. 作動温度範囲 -10°C～+60°C
5. 駆動方式 ステップモーター式（秒・分針、時針）
6. 使用電源 専用二次電池：1個
7. 持続時間 約6ヶ月（フル充電で、パワーセーブが作動しない場合）
※ フル充電をした状態からパワーセーブが作動した場合は最大約1.5年
8. 電波受信機能
受信局：日本（2局）、中国、アメリカ、ドイツ
自動受信（午前2時前、午前4時前）
※ 受信状況によって異なる。
※ 受信から次の受信までは上記クオーツの精度で動く
※ 強制受信機能付
9. 電子回路 発振、分周、駆動、受信回路：IC 2個

8

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーワオッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>